

# 『誰にでも商店街は変えられる!!』 東海道・吉原宿の挑戦！

NPO東海道・吉原宿は、静岡県富士市にある吉原商店街の活性化を目的として2003年(平成15年)に設立されたNPO法人です。

私たちの街「吉原商店街」は、東海道の宿場町「吉原宿」として栄えてきましたが、設立当時の状況は、全国の地方都市の中心市街地といわれるエリアがそうであるように、郊外開発によるスプロール化、公共交通機関の減便、郊外大型店の進出、個人商店の後継者難などの影響で、商店街は齒の欠けた櫛のようにシャッターを閉ざした街並みとなり、かつての賑わいは感じられなくなっていました。

その一方で、中心市街地活性化法の制定等により、市町村のイニシアチブによるまちづくりが求められていたものの、行政主導での活動にも限界があり、民間の力を活用したまちづくりを進めていこうという考え方も主流になりつつありました。

しかし、これまでの活動は、商店街のメ



吉商本舗 外観



吉商本舗 店内の様子



静岡県富士市  
NPO東海道・吉原宿  
代表理事

佐野 荘一

ンパーが中心であったことから、活動内容が商店街の「樫」にとらわれ、真のまちづくりをするための組織として相応しいものとは言えなかったのかもしれない。このような街の閉塞感を打破するために、まちづくり活動に意欲的な人材を募り、その担い手を育成し、多様なコンテンツを活用したまちづくりを行う目的でNPO法人の設立に至りました。

これまでの活動の中で代表的な事例として、平成16年7月にオープンした高校生によるチャレンジショップ『吉商本舗』があります。地元の市立吉原商業高校の商業ビジネス部と協働で運営している常設店舗です。ここでは高校生が部活動として駄菓子販売を中心とした店舗を経営し、出張販売や商品開発も手がけています。現在では高校生チャレンジショップのトップランナーとして全国から注目を集める存在です。地元企業との協力により開発した「茶飴」や、中学校と共同で製作した「ボン酢」、そしてフェアトレード商品の販売による国際協力など、高校生たちのアイデアを十分に活かし、新しい息吹を商店街に吹き込んできました。



地元企業との協力により開発した茶飴「よっぴ」

その他、コミュニティカフェや福祉施設商品専門店、シェアオフィスの運営、市の市民活動センターの指定管理、商店街はしご酒イベントや婚活企画、まちなかライヴイベントなど、吉原のまちを利用した様々な事業を実施してきました。こうした取り組みが評価され、平成21年経済産業省の「新・がんばる商店街77選」に選出されました。また、昨年から静岡県県のNPO活動センターの管理運営も受託することができました。

以上のような活動を行う上で、すべてが順調に進んできたわけではありません。商店街という土地柄、商店主や地元の人々に理解を得てから事業を進めていかなければ



シャッターアート製作

なりません。これまで商店街ではやったことのない事業を行う際には、反対されたり拒否されたりということも多々ありました。しかし、「このまちをもっと良くしていきたい」という信念や想いをもち、一方で「誰にでもまちは変えられる」と多様な担い手を巻き込むことで、特に若い人たちがちよつとした情熱とともに、様々なアイデアを試し実行していけば、やがて協力者が現れ、それが地域の理解につながっていくのではないかと思います。

とはいえ、未だ活性化には程遠い現状でもありません。私たちのまちづくりは、まだまだ始まったばかりなのかもしれません。



yPod (ヨシワラ・パフォーマンス・オブ・ドリームズ)